

女性防災リーダー育成講座

～ 避難拠点で困りそうなことを考える～

令和7年度ねりま防災カレッジ女性防災リーダー育成講座は、
「避難拠点で困りそうなことを考える」をテーマに実施しました。

このリーフレットは、
講座のポイントや受講生の声をまとめたものです。

ぜひ、ご自身の防災活動に
お役立てください。

避難拠点で困りそうなことを考える

講師：公益財団法人とちぎ男女共同参画財団、NPO法人栃木県防災士会 理事

芳村 佳子 氏

1. 栃木県の災害と避難所事例（女性リーダーたちによる支援や運営の工夫）

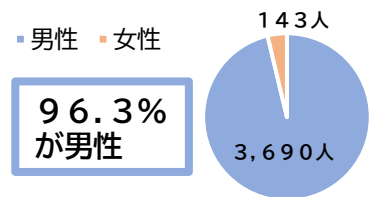
栃木県の災害時、避難所において下記のような支援がなされました。

2011年 東日本大震災	間仕切りの設置、女性ボランティアによる支援
2015年 関東・東北豪雨	避難所チェックシート、物資要望アンケートの活用
2019年 令和元年東日本台風	段ボールベッドの設置、保健師の巡回

2. なぜ防災に男女共同参画の視点が必要か？

災害時の困りごとは**性別・年齢・立場**によって大きく異なります。

- ・**災害時要配慮者**などさまざまな視点で災害に備えることが重要
 - ・**子育て・介護・看護**を担う人の負担にも目を向けることが必要
- しかし、防災リーダーは男性の割合が高いため、さまざまな視点が十分に反映されにくい現状となっています。



栃木県内市町自治会長

避難所で必要な視点

災害時要配慮者

高齢者、子ども、妊産婦、障がいのある人など災害時の避難が難しい人

+

子育て・介護・看護を担う人

+

多様な立場の人たち

ひとり暮らし・ひとり親家庭、DV被害者、LGBTなど

3. 災害時要配慮者に対応した避難所運営

誰もが安心して過ごせる避難所づくりが重要です。

(訓練時の写真)

男女共同参画の視点で取り組む
防災パンフレット

避難所設営のイメージ図や運営方法を確認できます



トイレ環境の改善



更衣室・授乳室の設置



段ボールベッドの設置

4. 女性たちによる被災者支援、地域防災活動の推進

栃木県内では、女性が中心になって被災地や各地域でさまざまな支援が行われています。

- ・フリーマーケットやリサイクルなどのイベントで使用する**物資を無償提供**
- ・**防災体験イベント**の企画・運営
- ・女性防災士と協力し、避難所運営を学ぶ研修動画の制作、避難所運営訓練・研修の実施

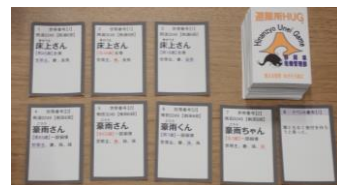
受講者の声



防災には理論と実践の2つが生き延びるためにいかに必要かを痛感しました。芳村先生の講義では「女性への配慮」を具体的に言及して下さったのもとても心強かったです。また、色々な当事者の声を伝えて下さったのも貴重な学びでした。

避難所運営ゲーム HUG

講義の内容を踏まえ、**避難所運営ゲーム(HUG)**を実施しました。避難所の運営者となり、避難者の特徴やイベントが書かれたカードを用いて**避難所で起こるさまざまな状況に対応していく体験型のゲーム**です。



避難所運営ゲームHUGカード

次々と出てくるカードへの対応を限られたスペースを
考えて判断するのが難しかった。いろいろな考えがあり、
なかなか正解を瞬時に判断できないと思った。



備蓄だけでなく、避難所で自分に何ができるかを
平常時から考えておく事が大事だと思った。



ポイント

- ・避難拠点はすぐに収容人数を超えてしまう
 - ・限られた人員・物資・時間の中でさまざまな判断を迫られる
- どのように判断・行動するか平常時から考えておくこと、
避難者も避難拠点の運営に積極的に関わることが重要！



避難所運営ゲームHUGの様子



講座のポイント

なぜ「多様な視点の防災」が必要か？

災害時の困りごとは人によって異なるためです。
年齢・性別・立場などさまざまな視点を取り入れ、
避難者自身も積極的に避難所運営に関わることが大切です。



災害時にはどのような困りごとが起こりやすいか？

避難所ではスペース不足やプライバシーの問題などから不安や混乱が起こりやすいです。
男女共同参画の視点を取り入れることで、避難者全員の安全・安心につながります。

安心できる避難拠点づくりのポイントとは？

高齢者や障がいのある人などへの配慮に加え、
防犯や健康管理にも目を向けた環境づくりがポイントです。



プライバシーの確保 保健師による聞き取り

地域ではどのような連携が必要か？

自治体、地域住民、ボランティア、専門職などが連携することが重要です。
地域に根差した活動が、地域全体の防災力の向上につながります。

受講者の声



これだけ考えて大変だったので、実際に災害が起こったら
どうなるんだろう…と、ものすごく難しいと思いました。
HUGを通じて、いかにいろいろな方がいるかということがわかり、
とても勉強になりました。

もっと防災を学びたい方へ！

防災学習センターは、防災に関する講座のほか、起震車や消火器操作等の体験もできる施設です。皆様のご利用をお待ちしております。



展示室はいつでも！

開館時間 10時～18時
入館料 無料
休館日 月曜（祝休日の場合は翌平日）
年末年始（12月29日～1月3日）

住所 練馬区光が丘6-4-1
電話 03 (5997) 6471

毎日実施！（14時～16時）

- ・応急手当
- ・初期消火体験
- ・ロープワーク体験

火・木曜日・第2日曜日は+起震車体験もできます！

VR体験も！



詳しくはコチラ

ねりま防災カレッジ

防災学習センターでは、様々な視点から防災の知識や技術について学ぶことができる「ねりま防災カレッジ」を毎年開催しています。基礎から応用まで様々な講座があり、一人ひとりの防災活動レベルにあった講座を選んで学ぶことができます。

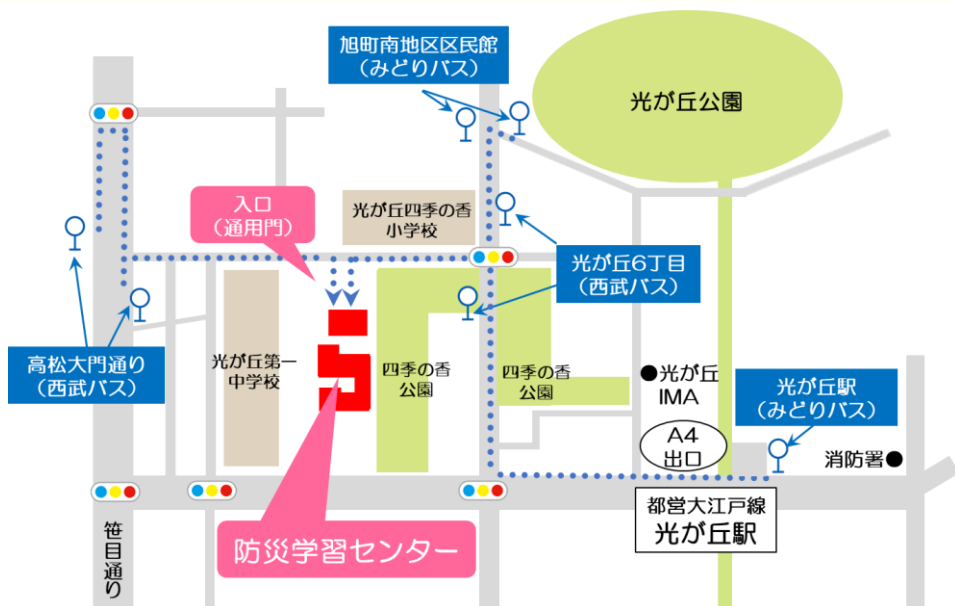
自助講座

共助講座

小学生向け講座

乳幼児の保護者向け講座

など



施設内駐車場あり（有料）
最初の1時間200円（30分以内は無料）
以後30分ごとに100円